

■ 議事概要

□日時：平成29年3月22日（水）13～15時

□場所：生田緑地整備事務所 □参加者：12名

□議題：1. 植生管理計画（柘形山園路・西口園路・飯室山北地区）2. 市民部会の活動報告と次年度の活動計画 3. 今後の自然会議について 4. 報告事項

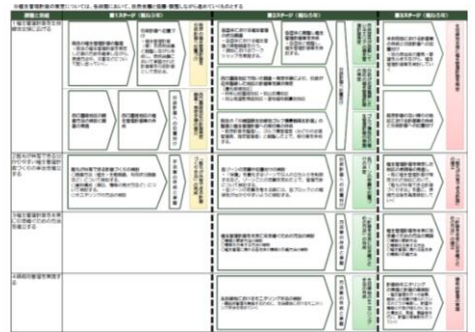
■ 今回の会議内容

1. 植生管理計画実施について

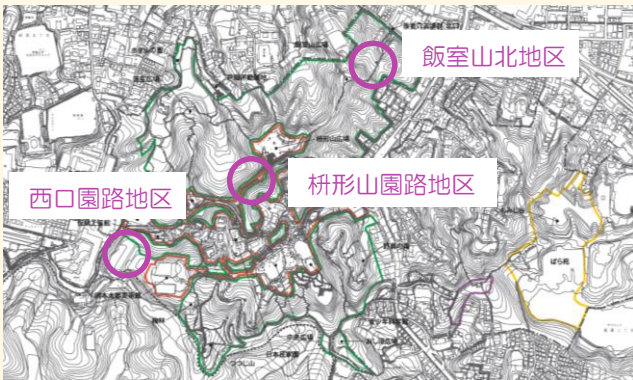
○ 植生管理計画策定フロー

生田緑地では平成9年に植生管理計画の概念が導入され、「生田緑地植生管理計画」として市民協働により、生田緑地植生管理協議会において策定され、計画区域の拡大と見直し等を行いながら運用されてきた。

平成26年8月に行政計画として生田緑地植生管理計画が策定された際に、植生管理計画策定フローが作成され、第1ステージ～第3ステージまでの計画が示された。



図：植生管理計画策定フロー



各地区の植生管理の実施プログラム案を基に管理内容等を検討した。現在検討されている地区以外の植生管理計画については、過去の経緯を踏まえて今後整理していくこととなった。

図：第4回自然会議検討地区

○ 柘形山園路地区

平成26年度に工事のモニタリングを実施し、平成27年度に現況調査を実施。調査結果をも基に平成28年度第1回自然会議にて実施プログラムについて提案し検討を行う。植生管理計画（行政計画）に位置付けるための議論を行った。

【論点】

目標を落葉樹と針葉樹の混合林としているが、2007年の植生管理協議会にて合意してきた落葉広葉樹林に戻すことと相違する。上層はコナラやヤマザクラがあれば無理のない形の落葉広葉樹林が形成される可能性があるため、林冠もしくは上層は落葉広葉樹林を目指す方向を検討。

【結論】

目標を下記のように定めることにした。

● 斜面林：

- ・ 遷移の進行を抑え落葉広葉樹主体の樹林地として維持する。
- ・ 高木層、亜高木層にコナラ、クヌギ等の落葉広葉樹が優占するよう管理を行う

● 園路沿い：

- ・ 観賞対象となる低木類が良好に生育できる環境を形成する



図・写真：対象地



図：目標像

○西口園路地区

平成26年にモニタリングを実施。その結果を踏まえ平成27年度から植生管理計画について議論を重ねている。今年度、第1回自然会議より、この湿地地区の管理内容について検討を重ねている。

【目標】

トンボ類、ゲンゴロウ類などの幼虫が水中ですごす種が産卵場所として利用できる湿地

【論点】

目標としているトンボ類・ゲンゴロウ類などが利用できる湿地づくりができるのか。

【結論】

専門家の意見を聞きながら、水路を手掘りし、水の滞水状況を確認しながら今後の計画を検討する。



図：対象地



写真：西口園路の湿地地区

○飯室山地区 (A15-3)

当該地区は、2015年に70種類以上の草本が確認された。平一方、亜高木層、低木層、高木層が貧弱で、亜高木層に樹木の生育は見られない。28年第4回自然会議にて、1年間様子を見て今後の計画を検討することになった。

【目標】

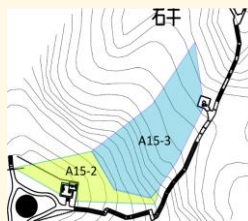
階層構造のある雑木林・多様な林床植生

【論点】

今後どのように管理をしていくか。

【結論】

高木層の一部を剪定（大枝剪定）しギャップをつくり樹木を育成していくのが望ましいが、剪定後は、定期的なササ刈（手刈）を要するため管理体制の構築が必要。



図：対象地



写真：飯室山A15-3地区の谷頭凹地

2.市民部会の活動報告

●平成28年度市民部会の活動

里山倶楽部（市民部会の愛称）Aの全8回、里山倶楽部Bの全10回の活動について報告。

●平成29年度市民部会の活動計画

里山倶楽部A・Bの年間の活動計画及び、8/5開催予定のミニシンポジウム（報告会）のお知らせ。

3.今後の自然会議について

●引き続き植生管理計画実施プログラムの検討を行っていく。

●落葉広葉樹林に維持・再生していくための方策を検討していく。

●平成29年9月に林床の植生管理について一般の方も参加できる講演会を開催予定。

4.報告事項

●水生植物観賞池地区の調査結果

水生植物観賞池の調査結果の報告を行った。平成29年度第1回自然会議にて、植生管理計画案の検討を行う。

●初山周遊散策路地区の調査計画

平成29年度の調査対象地区である初山周遊散策路の調査実施の報告。平成29年第4回自然会議にて、調査結果を提示する。

●過去に議論した地区の実施プログラム

自然会議の前身の会議、植生管理協議会で検討していた植生管理計画について情報共有化のため資料をまとめた。資料の活用については今後会議で検討していく。

●自然会議のホームページについて

作成中で、近日中にまず自然会議会員が確認できるよう調整中。

■今後の予定

- 平成29年5月に第1回自然会議を開催予定。（自然会議会員対象）